



## ルート リストの設定

ルート リストは、優先順位が指定されている 1 組のルート グループに関連付けられます。また、ルート リストは、1 つ以上のルート パターンに関連付けられ、そのルート グループがアクセスされる順位を決定します。この順位は、発信コールに使用可能なデバイスを検索するときの進行を制御します。

ルート リストには、ルート グループだけを入れることができます。

各ルート リストには、少なくとも 1 つのルート グループを入れる必要があります。各ルート グループには、少なくとも 1 つのデバイス、たとえば、使用可能なゲートウェイが含まれます。Cisco Unified CallManager は、デバイス タイプに基づいて、各ルート グループ内で、一部またはすべてのポートをリソースとして選択できます。一部のデバイス（たとえば、デジタルアクセス）では、すべてのポートの選択しかできません。

ルート グループは、任意の数のルート リストに追加できます。

ルート リストの追加または削除、リスト内のルート グループの追加、削除、または順序の変更をするには、次のトピックを参照してください。

- [ルート リストの検索 \(P.33-2\)](#)
- [ルート リストの追加 \(P.33-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.33-6\)](#)
- [ルート リストからのルート グループの削除 \(P.33-8\)](#)
- [ルート リスト内のルート グループの順位の変更 \(P.33-9\)](#)
- [ルート リストの削除 \(P.33-10\)](#)

## ルートリストの検索

ネットワーク内にはいくつかのルートリストが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定のルートリストを見つけることができます。ルートリストを見つけるには、次の手順を使用します。



**(注)** Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ルートリストの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルートリストの検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。

[ルートリストの検索と一覧表示 (Find and List Route Lists)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリストボックスを使用して、ルートリストを検索します。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: ルートリスト、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [名前]
- [説明]



**(注)** このドロップダウンリストボックスで選択する条件によって、検索時に生成されるルートリストの一覧のソート方法が決まります。たとえば、[説明] を選択すると、[説明 (Description)] 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の [検索対象: ルートリスト、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列で終わる]
- [が次の文字列と等しい]

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



**(注)** データベースに登録されているルートリストをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたルートリストの一覧が、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]

- [説明 (Description)]
- [ステータス (Status)]
- [有効 (Enabled)]

**ヒント**

検索結果内でルート リストを検索するには、**[絞り込み]** チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。

**(注)**

該当するルート リストの横にあるチェックボックスをオンにして、**[選択項目の削除]** をクリックすると、**[ルートリストの検索と一覧表示 (Find and List Route Lists)]** ウィンドウから複数のルート リストを削除できます。検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **[選択項目の削除]** をクリックすると、ウィンドウ内のルート リストをすべて削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件と一致するルート リストをクリックします。

選択したルート リストがウィンドウに表示されます。

**追加情報**

P.33-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ルート リストの追加

ルート リストを追加する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。

**ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

**ステップ 3** [名前] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (\_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルート リスト名が、そのルート プランに固有の名前であることを確認してください。



### ワンポイント・アドバイス

ルート リストには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationCalltype の形式が、内容を簡潔に表し、ルート リストをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetro」は、Dallas の Cisco オフィスからの、LATA (Local Access Transport Area) 間の無料コール用のルート リストを特定します。

Cisco Unified CallManager は、自動的に [説明] フィールドに説明を挿入します。ただし、このフィールドの編集は可能です。

**ステップ 4** ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco Unified CallManager グループを選択します。



**(注)** ルート リストは、グループで最初の Cisco Unified CallManager に登録されます。これは、そのグループのプライマリ Cisco Unified CallManager です。



**(注)** Cisco Unified CallManager が 1 つしか設定されていない Cisco Unified CallManager グループを選択すると、次の警告が表示されます。

**警告:** 選択された Cisco Unified CallManager グループに Cisco Unified CallManager が 1 つしか設定されていません。制御プロセスに冗長性保護を持たせるため、2 つ以上の Cisco Unified CallManager を含む Cisco Unified CallManager グループを選択してください。

**ステップ 5** [保存] をクリックして、このルート リストを追加します。



**(注)** コールを受信させるため、このルート リストにルート グループを少なくとも 1 つ追加する必要があることを示すポップアップ メッセージが表示されます。

[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウに、新しく追加されたルート リストが表示されます。

**ステップ 6** 新しいルートリストの [このルートリストを有効にする (Enable this Route List)] チェックボックスは、デフォルトでオンになっています。

このルートリストを使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフにします。進行中のコールは影響を受けないが、このルートリストが追加のコールを受け付けなくなることを示す、ポップアップウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** 新しいルートリストに少なくとも 1 つのルートグループを追加します。

このリストにルートグループを追加するには、[[ルートグループを追加](#)] をクリックし、[P.33-6 の「ルートリストへのルートグループの追加」](#) の [ステップ 4](#) ~ [ステップ 8](#) を実行します。



**(注)** 着信側と発信側の変換情報を参照するには、このルートリストに属しているルートグループの名前をクリックします。ルートグループの名前は、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの一番下にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストボックスに表示されています。この操作によって、選択したルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

#### 追加情報

[P.33-11 の「関連項目」](#) を参照してください。

## ルートリストへのルートグループの追加

新規のルートリストまたは既存のルートリストに、ルートグループを追加することができます。ルートグループは、1 つ以上のルートリストに組み込むことができます。既存のルートリストにルートグループを追加する手順は、次のとおりです。



**(注)** QSIG プロトコルを使用する MGCP ゲートウェイを含むルートグループ (QSIG ルートグループ) と、H.323 プロトコルを使用するゲートウェイを含むルートグループ (H.323 ルートグループ) を、同じルートリストに追加することはできません。詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「ルートグループとルートリスト」を参照してください。

### 始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つのルートグループを作成し、ルートリストを追加しておく必要があります。

### 手順

**ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。

**ステップ 2** ルートグループを追加する先のルートリストを特定します。P.33-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。

**ステップ 3** [ルートグループの追加] をクリックして、ルートグループを追加します。

[ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 4** [ルートグループ (Route Group)] ドロップダウンリストボックスから、ルートリストに追加するルートグループを選択します。



**(注)** ルートリストに QSIG ルートグループが含まれている場合、H.323 ルートグループはドロップダウンリストボックスに表示されません。ルートグループに H.323 ルートグループが含まれている場合、QSIG ルートグループはドロップダウンリストボックスに表示されません。

**ステップ 5** このルートグループを介してルーティングされるコールについて、発信側の番号を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、発信側変換をセットアップします。



**(注)** 発信側変換の詳細については、『Cisco Unified CallManager システムガイド』の「発信側および着信側の変換」を参照してください。

**ステップ 6** このルートグループを介してルーティングされるコールについて、ダイヤルされる数字を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、着信側変換をセットアップします。



**(注)** 着信側変換の詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「着信側番号の変換設定値」を参照してください。

**ステップ 7** [保存] をクリックして、ルートグループを追加します。

ウィンドウの下部にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストに、ルートグループの詳細情報が表示されます。

**ステップ 8** このリストにルートグループをさらに追加するには、[ルートグループの追加] をクリックし、[ステップ 3](#)～[ステップ 7](#) を実行します。

**ステップ 9** ルートリストへのルートグループの追加が終了したら、[保存] をクリックします。

**ステップ 10** [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウが表示されたら、[リセット] をクリックします。

---

#### 追加情報

P.33-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## ルート リストからのルート グループの削除

新規のルート リストまたは既存のルート リストから、ルート グループを削除することができます。既存のルート リストからルート グループを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** メニューバーから [コールルーティング] > [ルート / ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルート グループが入っているルート リストを特定します。P.33-2 の「[ルート リストの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルート グループ名を選択します。



(注) このリストから複数のルート グループを選択するには、**Shift** キーを押し、目的のルート グループをクリックしてください。

- ステップ 4** [選択されたグループ (Selected Groups)] リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、選択したルート グループを [削除されたグループ (Removed Groups)] リストに移動します。
- ステップ 5** ルート グループを削除するには、[保存] をクリックします。ページがリフレッシュされたときに、そのルート グループがルート リストから削除されています。
- ステップ 6** [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの [リセット] をクリックします。

### 追加情報

P.33-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。



## ルートリスト内のルートグループの順位の変更

Cisco Unified CallManager は、ルートリストに表示されている順に、ルートグループにアクセスします。ルートグループのアクセス順位を変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** ルートグループの順位を変更するルートリストを特定します。P.33-2 の「ルートリストの検索」を参照してください。
- ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルートグループを選択します。
- ステップ 4** リスト内でルートグループを上下に移動させるには、ルートグループを選択して、リストボックスの右側にある上矢印または下矢印をクリックします。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。



- (注)** 着信側と発信側の変換情報については、左側にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストのルートグループアイコンまたはルートグループ名をクリックしてください。この操作により、対応するルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 6** [リセット] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウの [リセット] をクリックします。

### 追加情報

P.33-11 の「関連項目」を参照してください。

## ルート リストの削除

Cisco Unified CallManager は、ルート リストをルート パターンに関連付けます。ルート リストがルート パターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。ルート リストを使用しているルート パターンを検索するには、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの [依存関係レコード] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムに対して使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。



### ヒント

ルート グループとルート パターンを削除するには、まずルート パターンを削除し、次にルート リストを削除して、最後にルート グループを削除します。

ルート リストを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [ルートリスト] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルート リストを特定します。P.33-2 の「[ルート リストの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。

ルート リストを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** ルート リストを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。



### 注意

ルート リストが 1 つ以上のルート パターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。

### 追加情報

P.33-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [ルートリストの検索 \(P.33-2\)](#)
- [ルートリストの追加 \(P.33-4\)](#)
- [ルートリストへのルートグループの追加 \(P.33-6\)](#)
- [ルートリストからのルートグループの削除 \(P.33-8\)](#)
- [ルートリスト内のルートグループの順位の変更 \(P.33-9\)](#)
- [ルートリストの削除 \(P.33-10\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ルートプランの概要」
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンスとルートリストの連動について」

